

# 災害医療と災害看護

---

2020年7月2日(木)

水戸医療センター

# 本日の研修内容

---

- 救急医療と災害医療の違いが分かる
- 基幹災害拠点病院の役割について理解しよう
- 災害看護について

～今できることはなにか～

# なぜ災害医療の研修が必要なのか？

---

- 自然災害が多発している
- 大震災が予測されている



## 大辞林

地震・台風・洪水・津波・噴火・干魃・大火災・感染症の流行などによって引き起こされる不時の災い。また、それによる被害。

## 災害対策基本法

災害とは暴風、竜巻、豪雨、豪雪、洪水、崖崩れ、土石流、高潮、地震、津波、噴火、地滑りその他の異常な自然現象又は大規模な火事若しくは爆発その他その及ぼす被害の程度においてこれらに類する政令で定める原因により生ずる被害をいう。

## 災害医学用語辞典

重大かつ急激な出来事による人間とそれを取り巻く環境との広範な破壊の結果、被災地域がその対応に非常な努力を必要とし、時には外部や国際的な援助を必要とするほどの大規模な非常事態のことを災害(disaster)という。

## 日本看護協会

自然災害や人災と呼ばれる、不測の時に、多くの人々の生命や健康が著しく脅かされる状況であり、地震や火災などによる一次的な被害だけでなく、二次的な生命・健康への脅威を含む

# 茨城県の特徴は？



地滑り  
土砂崩れ

地盤沈下

洪水  
浸水

津波

原子力

# 脅威や脆弱性を把握しておく

## 時間帯

- ・ 人数の分布
- ・ 週（曜日）の変動

## 季節

- ・ 気温
- ・ 天候

## 地域

- ・ 都市型or地方型



# 災害医療と平時の医療の違い

## 災害医療が必要な状態

平時の医療が提供できなくなった時から  
災害医療に切りかわる

- ・ 受け入れる病院も被災している
- ・ 対応する患者は1人ではなく多数となる
- ・ マンパワーが不足する
- ・ 医療資源に限界がある



# 救急医療



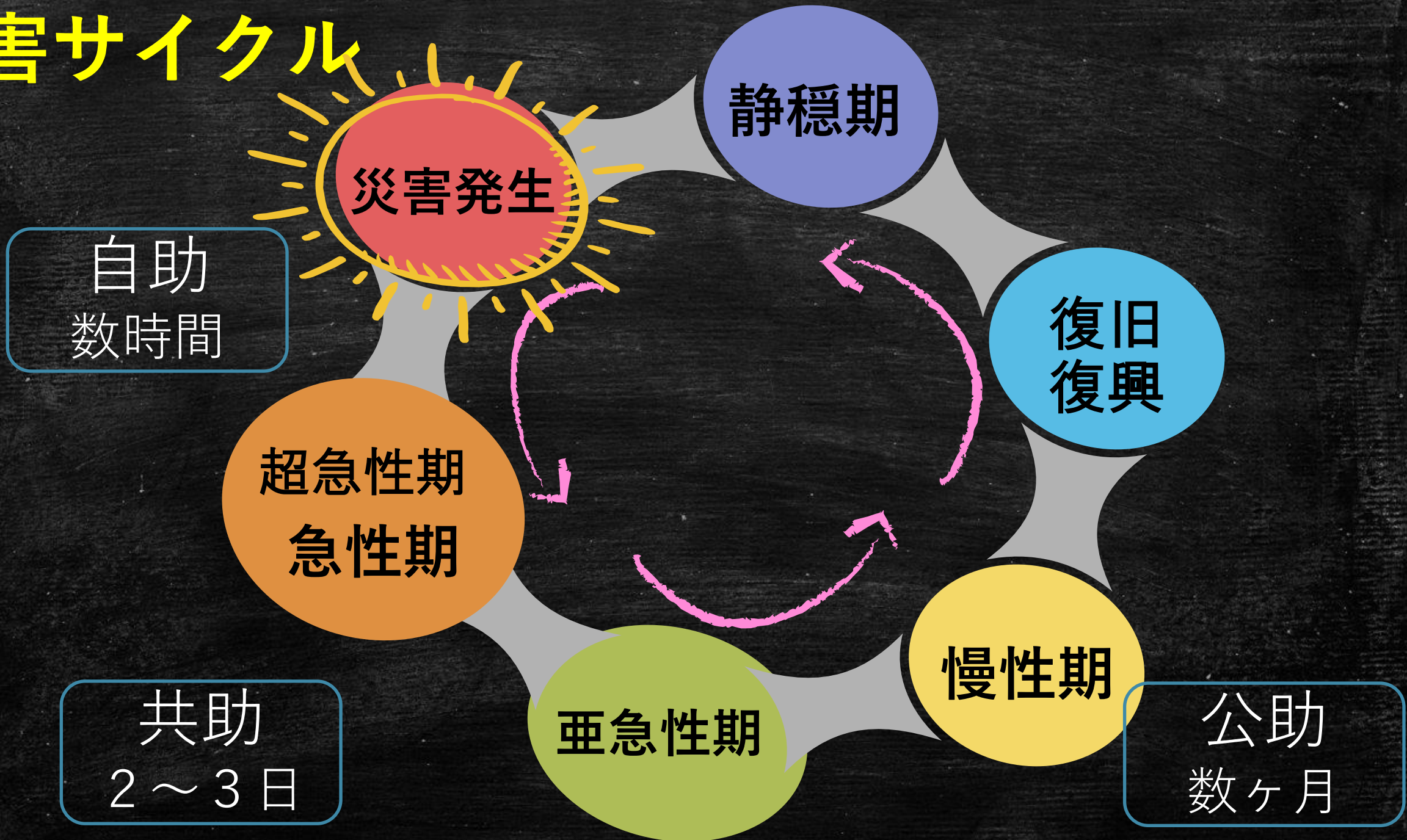
少数の患者に集中治療  
スタッフの充足  
十分な医薬品・資機材

# 災害医療



パニックに陥った多数の被災者  
圧倒的なマンパワー不足  
医薬品・資機材の不足  
トリアージ・応急処置などが必要

# 災害サイクル



静穏期

災害発生

自助  
数時間

復旧  
復興

超急性期  
急性期

慢性期

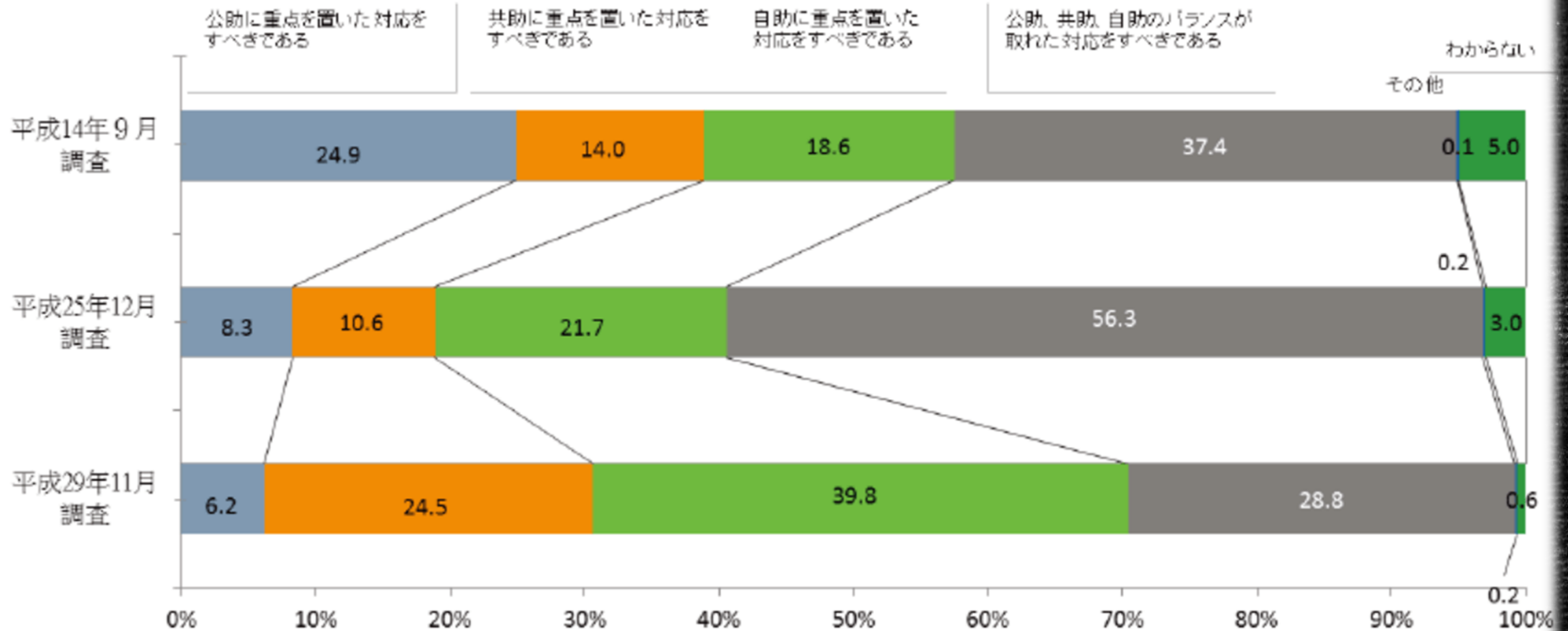
亜急性期

共助  
2~3日

公助  
数ヶ月

# 自助・共助・公助に関する意識の変化

附属資料60 自助、共助、公助の対策に関する意識

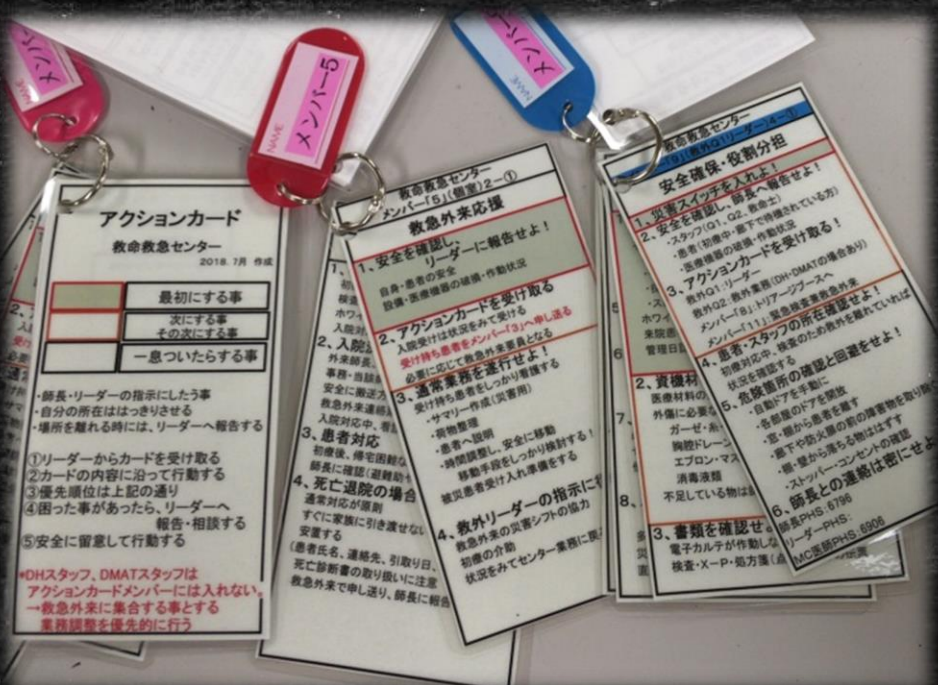


出典：内閣府政府広報室「防災に関する世論調査」より内閣府作成

# 災害発生～超急性期 24時間 自助

支援が得られない時期 

- ・身の安全を守る
- ・災害モードにスイッチを入れる



## CSCATTの確立をする

# 急性期の特徴

情報は混乱する  
伝達するツールはなにを使うか？



自分

相手

# 亜急性期～慢性期

救援・救助活動

避難生活

自立に向けての支援活動

公助

## 【医療介入】

医療継続の支援

慢性疾患の悪化

こころのケア

感染症蔓延リスク



# 急性期～72時間

# 共助

周りの安全確保・お互いを支え合う  
指示系統を明確にする（災害医療の開始）



# 災害時の医療チームは無限大



国立病院機構医療版

DMAT

JMAT

災害支援ナース

DPAT

JRAT

D-HEAT

まだまだチームはたくさんある

150チーム以上



# 西日本豪雨 避難所



# 復旧・復興

避難所の縮小  
支援活動・ボランティア

## 【医療介入】

定期的な医療支援  
こころのケア  
自立支援



# 災害マネジメントサイクル

## クライシスマネジメント

- ・ 医療物資の不足
- ・ マンパワー不足
- ・ 迅速な対応ができない

↓  
対応する能力

災害発生

超急性期

急性期

亜急性期

静穏期

## リスクマネジメント

DPC

マニュアル

復旧  
復興

- ・ 問題点の抽出
- ・ 分析
- ・ 改善
- ・ 新しいシステムを確立

慢性期

ひと、暮らし、みらいのために



ホーム

本文へ お問合わせ窓口 よくある御質問 サイトマップ 国民参加の場

Google カスタム検索 検索

- テーマ別に探す
- 報道・広報
- 政策について
- 厚生労働省について
- 統計情報・白書
- 所管の法令等
- 申請・募集・情報公開

ホーム > 政策について > 分野別の政策一覧 > 健康・医療 > 健康 > 感染症情報 > 新型コロナウイルス感染症について > 新型コロナウイルス感染症医療機関等情報支援システム (G-MIS) : Gathering Medical Information System on COVID-19

健康・医療

# 新型コロナウイルス感染症医療機関等情報支援システム (G-MIS) : Gathering Medical Information System on COVID-19

○厚生労働省では、内閣官房IT室と連携して情報通信基盤センター（仮称）を構築し、全国の医療機関（20病床以上を有する病院約8,000カ所）から、病院の稼働状況、病床や医療スタッフの状況、医療機器（人工呼吸器等）や医療資材（マスクや防護服等）の確保状況等を一元的に把握することにより、病院の稼働状況を広くお知らせするほか、マスク等の物資の供給や患者搬送の調整に活用するなど必要な医療提供体制の確保に役立てています。

## 新型コロナウイルス感染症医療機関等情報支援システム(G-MIS\*)について

\*Gathering Medical Information System on COVID-19

○ 厚生労働省と内閣官房IT室が連携し、情報通信基盤センター（仮称）を構築  
 全国の医療機関（約8,000病院）から、病院の稼働状況、病床や医療スタッフの状況、  
 医療機器（人工呼吸器等）や医療資材（マスクや防護服等）の確保状況等を一元的に把握・支援

□ 政府CIOポータルにおいて、各病院の稼働状況を可視化

- 政策について
- 分野別の政策一覧
- 健康・医療
  - 健康
  - 食品
  - 医療
  - 医療保険
  - 医薬品・医療機器
  - 生活衛生

# 災害時の看護について

災害に関する看護独自の知識や技術を体系的かつ柔軟に用いる。同時に他の専門分野と協力して、災害の及ぼす生命や健康生活への被害を極力少なくするための活動を展開すること

# 災害看護の対象者は？

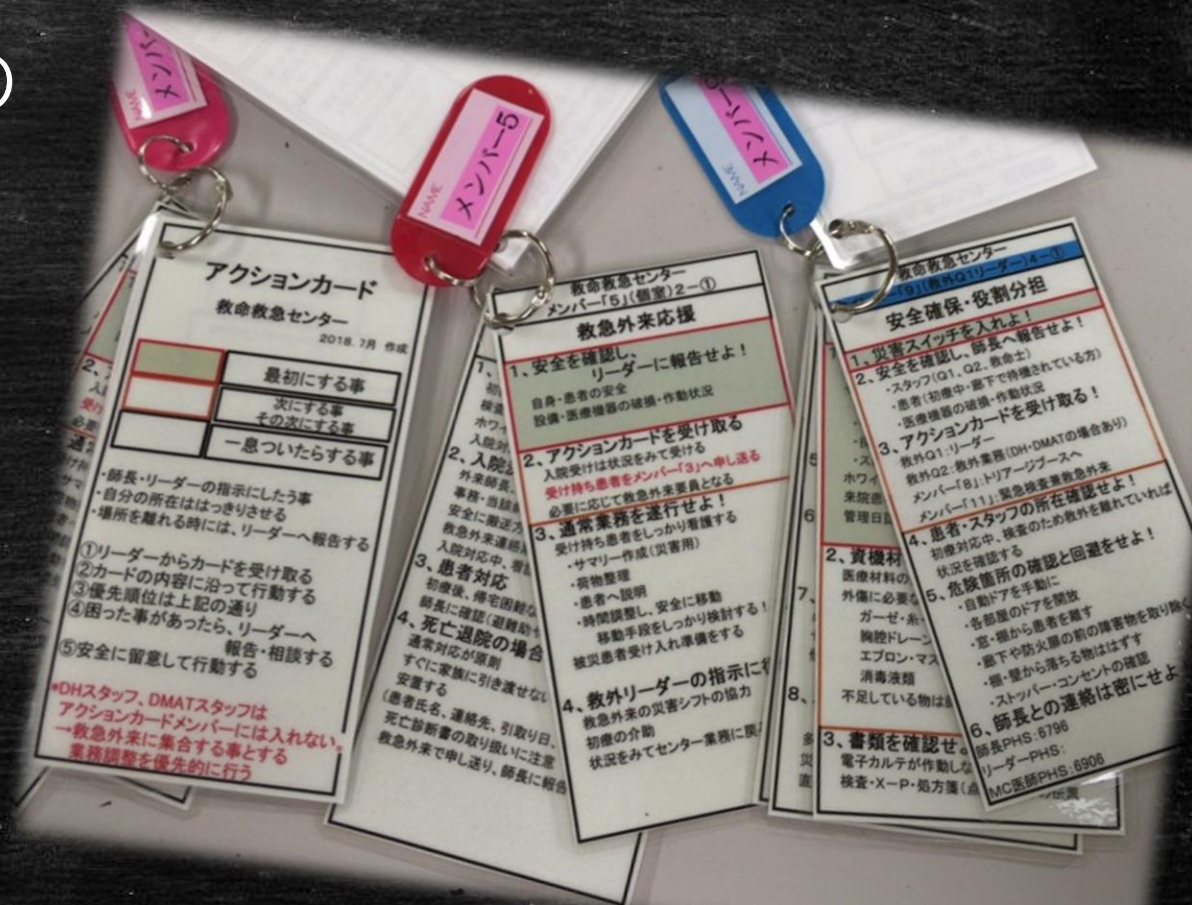
- ①被災者  
被災地内に住む人々  
被災地内の医療施設の職員も含まれる
- ②侵入被災者  
被災地外から支援をしている人
- ③近接被災者  
災害が原因で物理的・社会的・文化的に  
影響を受けている人

災害に関わる全ての人を対象

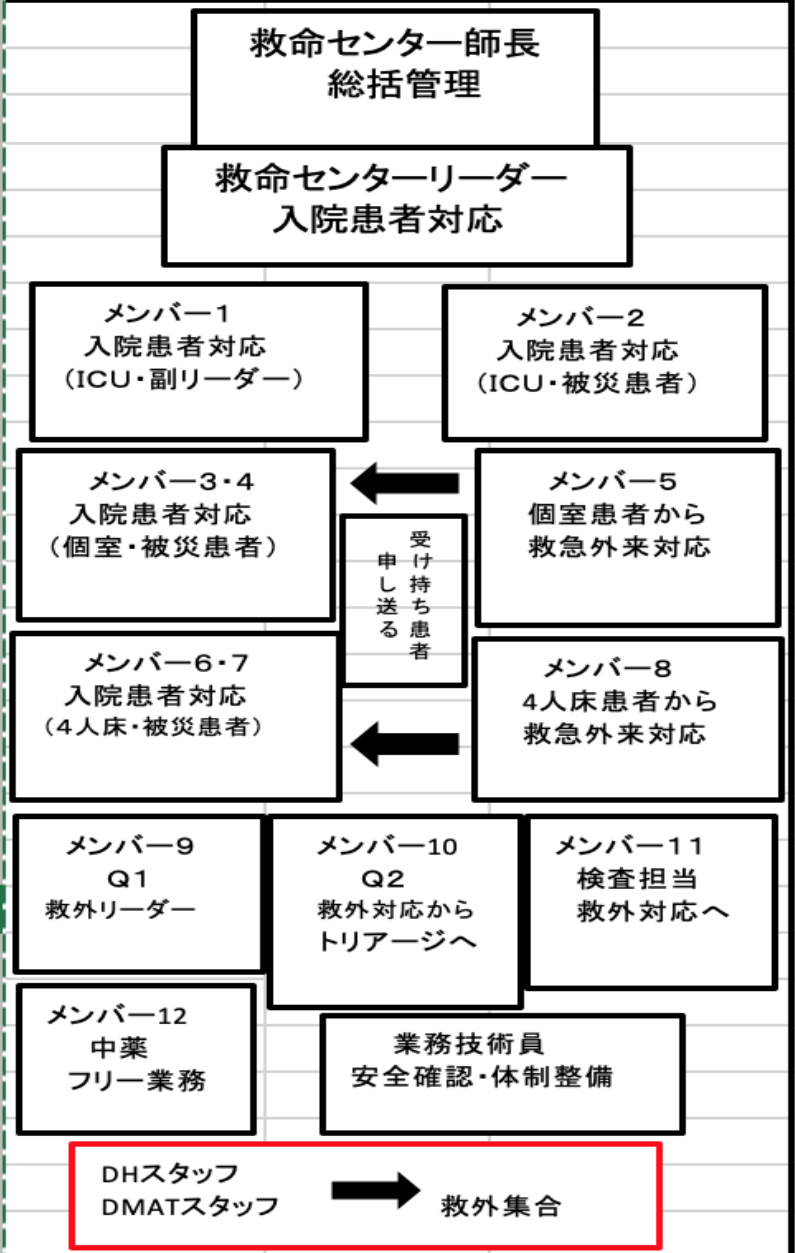
# アクションカードの活用

マニュアルを読みながらの  
災害活動は理想ではない

災害発生直後から  
最低限必要となる行動  
を完結に具体的に  
しめたもの



# 救命救急センター組織図



災害発生モードに入った時の  
救命センターの組織図

- 日勤帯を想定しての配置
- 支援活動が必要になった場合のスタッフのポジションを明確にしておく



# アクションカード

## 救命救急センター

2018. 7月 作成

	最初にする事
	次にする事 その次にする事
	一息ついたらする事

- ・師長・リーダーの指示にしたう事
- ・自分の所在ははっきりさせる
- ・場所を離れる時には、リーダーへ報告する

- ①リーダーからカードを受け取る
- ②カードの内容に沿って行動する
- ③優先順位は上記の通り
- ④困った事があつたら、リーダーへ  
報告・相談する
- ⑤安全に留意して行動する

**\*DHスタッフ、DMATスタッフは  
アクションカードメンバーには入れない。  
→救急外来に集合する事とする  
業務調整を優先的に行う**

カードの見方

最優先すべき事柄



次優先される事柄



上記が終了したら行う行動

## 救命救急センター

### センターリーダー(3-①)

#### 安全確保・役割分担

##### 1、災害スイッチを入れよ！

##### 2、安全を確認し、師長へ報告せよ！

・スタッフ(病棟・救外・検査担当)

・患者

・医療機器の破損・作動状況

##### 3、アクションカードを配布せよ！

アクションカードを配布し役割を明確にする

##### 4、患者・スタッフの所在確認せよ！

・検査、手術、リハビリなどで棟外に出ている患者

##### 5、危険箇所の確認と回避をせよ！

・自動ドアを手動に

・各部屋のドアを開放

・窓・棚から患者を離す

・廊下や防火扉の前の障害物を取り除く

・棚・壁から落ちる物ははずす

##### 6、師長との連絡は密にせよ！

師長PHS: 6796

リーダーPHS:

救外リーダーPHS: 6727

# リーダーとして行うこと

## 災害のスイッチを入れる

- ・安全確認
- ・報告
- ・被災状況の把握

# 今私たちにできることはなにか？

## 今後訪れる大規模災害

- ・地震
- ・新型コロナウイルスの第2波
- ・オリンピック

**起こりうる可能性を予測した  
備えと行動が大切です  
私たちの看護現場にも対策を！**